

★農A-1

公益財団法人 自然農法国際研究開発センター 御中

申請書

別紙書類を添えて、有機農産物の生産行程管理者の認証を申請します。

捺印をお忘れなく！

☑をお忘れなく！

(フリガナ) 申請者名	(アタミュウキセイサングループ) 熱海有機生産グループ	代表者	自農 太郎	書類等 受領方法
所在地	〒○○○ - ○○○○ ○○県 △△市 □□町 2-32			<input checked="" type="checkbox"/> 郵送
(事務連絡先)	〒 -			<input type="checkbox"/> 郵送
電話番号	○○○ - ○○○ - ○○○○	FAX番号	○○○ - ○○○ - ○○○○	<input checked="" type="checkbox"/> FAX
ホームページアドレス	(http://)	Eメール (携帯電話不可)	nintei@infrc.or.jp	<input checked="" type="checkbox"/> Eメール
申請日 (作成日)	○○○○年 ○○月 ○○日			
認証以外の情報 (イベント情報 など) の受領を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <small>(個人情報の取扱については、個人情報保護法に基づき認証に関する利用と左記の目的以外には利用しません)</small>			
農水省ホームページへの掲載を 希望する	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ			

※「申請者名」は認証書類に記載する名称(認証事業者名)です。グループの場合はグループ名を、農家単独申請の場合は個人名や○○農園などと記入し

※所在地に有機JAS認定事業者をホームページに掲載してあります。認証後に、認証事業者として掲載を希望する場合は、「はい」に☑して下さい。
 ※「書類等受領方法」に有機JAS担当者と連絡がとれる場所を記入して下さい。送(所在地または連絡先住所)、FAX、Eメールから選択して☐にチェックを

★農A-2

20〇〇年 〇〇月 〇〇日作成

生産行程の管理及び格付の体制


生産行程の管理または把握と格付を担当する者の全ての氏名を記入して下さい。

生産行程管理責任者	格付責任者
自農 太郎	自農 花子
生産行程管理担当者	格付担当者
自農 大地	自農 大地
自農 稲子	自農 稲子
<p>担当者が自分以外の農家のほ場や施設の管理を担当する場合や、自分以外の農家が生産した農産物の格付を行う場合は、その内容が分かるように図表を添付するなどして補足して下さい。</p>	

※上表に記載のある担当者は全員略歴書を提出する必要があります。

★農 A - 3

略 歴 書

(フリガナ) 氏 名	(ジノウ タロウ) 自農 太郎	生 年 月 日	大正・昭和・平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日
住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 △△市 □□町 2-35 電話番号 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇		
略 歴	年 月 日	学歴・職歴・配属部署・就農	備 考
	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇県立△△農業高校園芸科卒業	最終学歴を明記して下さい。大学等で農業生産に関する授業科目の単位を取得した場合はその旨も併せて記載して下さい。
	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇農業試験場本科卒業	
	平成 2年 4月 1日	J A〇〇入社・営農指導に携わる	
		また兼業にて農業に従事始める	
	平成 7年10月 1日	J A〇〇退社	
	平成 7年10月 2日	専業農家となり現在に至る	
略歴は資格要件を満たしていることが分かるように記載して下さい（最終学歴及び就農年数が必須）。記入例の自農太郎さんは、平成2年から就農しています（高卒の場合に求められる2年以上の農業生産に従事しています）。			
資格・賞罰等		講習会受講日※ (講習会開催機関名)	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日 (自然農法国際研究開発センター)
〇〇年〇〇月	普通自動車免許		
年 月		以上の通り相違ありません	
年 月		〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	
年 月		氏 名	自農 太郎
年 月			

※講習会未受講者は、受講予定日を記入して下さい。

★農 A-4 肥料及び土壌改良資材リスト (1 枚目)

2013 年 12 月 15 日作成 確認者: 自農 太郎

我々は本リストに記載した資材のみを用いて肥培管理等を行う事を報告します。下記内容を変更する場合は事前に報告します。

No	資材の正式名称 (愛称、略称等)	製造メーカー名	資材証明書の日付 (資材リストを確認した日)	農 A-4 記載 年月日	使用目的	備考 (標準使用量等)
1	魚粗粕粉末 5 号 (魚粉)	〇〇肥料(株)	2012. 10. 10	2012. 11. 23	自家製資材ボカシ の原材料	
2	なたね油粕粉末 (油粕)	(株)△△油脂	2012. 10. 21	2012. 11. 23	自家製資材ボカシ の原材料	
3	SMK 菌 (SMK)	□□微生物研究所	2012. 11. 15	2012. 11. 23	自家製資材ボカシ の原材料	
4	糖蜜	◇◇精糖(株)	2012. 11. 20	2012. 11. 23	自家製資材ボカシ の原材料	資材が同じ名称の場合は、愛 称や略称で、区別して下さ い。例: No.6 と No.7
5	◎◎有機育苗培土 (◎◎培土)	◎◎培土開発(株)	2013. 2. 10	2013. 2. 20	育苗用土	
6	牛ふん堆肥 (牛ふん▼▼)	▼▼牧場	2013. 2. 15	2013. 2. 20	元肥	年間 0.5~1 t /10 a
7	牛ふん堆肥 (牛ふん○×)	○×牧場	2013. 2. 19	2013. 2. 20	元肥	年間 0.5~1 t /10 a
8	スーパー■■■	バイオ■■■(株)	2013. 8. 15	2013. 8. 20	追肥	必要時に散布 (500~1000 倍 を 50~150L/10a)
9	★★★グリーン	★★★製造所	2013. 12. 10	2013. 12. 15	土壌改良 元肥	年間 1~2 t /10 a 登録番号 JASOM-1304〇〇〇
10						

※育苗に使用する培土、ほ場での肥培管理や土壌改良等に使用する資材を記載して下さい。自家製造資材がある場合は、その原材料をこのリストに記載し、製造方法を「自家製資材の製造方法」に記載して提出して下さい。資材を追加する場合は、必ず使用前に資材証明書を取得し、財団にその資材の適合の可否を確認してから使用して下さい。適合確認済みの資材はこのリストへ記載し、変更届と共に提出して下さい。米糠や籾殻は外部入手のものでも資材証明書の取得は不要です。

※有機 JAS 資材評価協議会の適合性評価済み資材リストに記載されている資材は、有機管理で使用が可能ですので、これらの資材を使用する際は、その資材を No.9 の記載例を参照して記載を行い、変更届と共に提出して下さい。

※「農 A-4 記載年月日」は本リストに、資材を記載した日を記入して下さい。

※このリストが複数枚になる場合は何枚目かを必ず記入して下さい。